

平成29年度 生徒アンケート集計結果

※ 1「そう思う」 2「ややそう思う」 3「あまりそう思わない」 4「そう思わない」 ※ 数値は%

※ 各項目の評価は、「1」と「2」の合計値について、90%以上を◎、80以上90未満を○、80未満を▲とした。ただし、項目20のみ、「1+2+3」の合計値で評価した。

No	内 容	1	2	3	4	評価	1+2
1	私は、学校生活を楽しく過ごしている。	62	30	6	2	◎	92
2	私は、目標を持って充実した学校生活を送っている。	34	47	17	2	○	81
3	学校は、通知や連絡で、必要なことを知らせてくれている。	69	30	1	0	◎	99
4	学校は、校内の環境整備を心がけてくれている。	52	39	8	1	◎	91
5	私は、いつも教科書やノートを授業前に用意できている。	49	39	10	1	○	88
6	私は、どの授業にも集中して、意欲的に取り組んでいる。	36	47	15	2	○	83
7	私は、家庭学習に自主的に取り組んでいる。	22	38	30	11	▲	60
8	先生方は、わかりやすい授業に努めてくれている。	56	39	4	1	◎	95
9	先生方は、興味・関心が高まるような授業を工夫してくれている。	44	44	10	3	○	88
10	先生方は、質問にていねいに答えてくれている。	52	42	5	1	◎	94
11	私は、自分から「あいさつ」ができていると思う。	53	34	10	2	○	87
12	先生方は、親身になって、私の相談にのってくれている。	47	44	8	1	◎	91
13	先生方は、いじめのない楽しい学級作りのために努力してくれている。	57	33	7	3	◎	90
14	先生方は、私たちのことをよく理解してくれていると思う。	46	37	13	4	○	83
15	学友会活動は充実している。	56	37	6	1	◎	93
16	北陽祭をはじめとする学校行事は充実している。	77	20	2	1	◎	97
17	委員会活動は充実している。	61	32	6	2	◎	93
18	私は、毎日の清掃活動にしっかりと取り組んでいる。	58	36	5	1	◎	94
19	道徳や学年行事等は、自分自身の生活を見つめ直すきっかけとなっている。	42	41	15	2	○	83
20	1ヶ月に読む本(漫画、雑誌類は除く)は、(①5冊以上②3~4冊③1~2冊④ほとんど読まない)である。	14	15	34	37	▲	63

平成29年度 保護者アンケート集計結果

※ 1「そう思う」 2「ややそう思う」 3「あまりそう思わない」 4「そう思わない」 ※ 数値は%

※ 各項目の評価は、「1」と「2」の合計値について、90%以上を◎、80%以上90%未満を○、80%未満を▲とした。

No	内 容	1	2	3	4	評価	1+2
1	お子さんは、学校生活を楽しんでいると思いますか。	66	28	4	1	◎	94
2	お子さんは、目標を持って充実した学校生活を送っているとおもいますか。	39	41	18	2	○	80
3	学校からの家庭連絡は、迅速かつ適切だと思えますか。	44	44	9	2	○	88
4	学校は、校内の環境整備のために努力していると思えますか。	37	50	12	1	○	87
5	お子さんは、忘れ物などせず、授業を受けていると思えますか。	37	39	19	4	▲	76
6	お子さんは、いつも授業に集中して、意欲的に授業に取り組んでいると思えますか。	32	42	21	5	▲	74
7	お子さんは、家庭学習に自主的に取り組んでいると思えますか。	20	35	30	16	▲	55
8	教員は、わかりやすい授業に努めていると思えますか。	27	57	15	1	○	84
9	教員は、興味・関心が高まるような授業の工夫をしていると思えますか。	25	54	20	1	▲	79
10	教員は、お子さんの質問に対して丁寧に答えていると思えますか。	32	54	12	2	○	86
11	お子さんは、自分から「あいさつ」していると思えますか。	42	44	13	1	○	86
12	教員は、お子さんの相談等に適切に応じていると思えますか。	33	52	13	2	○	85
13	教員は、いじめなどない、互いを認め合う学級づくりに努めていると思えますか。	36	50	13	1	○	86
14	教員は、お子さんのことをよく理解していると思えますか。	32	49	16	3	○	81
15	学友会活動は、充実していると思えますか。	36	58	6	0	◎	94
16	北陽祭をはじめとする学校行事は、生徒にとって充実した活動となっていると思えますか。	73	25	2	0	◎	98
17	委員会活動は、充実した活動となっていると思えますか。	38	54	8	0	◎	92
18	お子さんは、毎日の清掃活動にしっかり取り組んでいると思えますか。	43	50	5	1	◎	93
19	道徳や学年行事等は、お子さんの豊かな心の育成につながっていると思えますか。	41	49	10	0	◎	90
20	お子さんは、家でよく本(漫画、雑誌類を除く)を読んでいますか。	22	20	32	27	▲	42

平成29年度 職員評価及び前年度との比較

※ 1「そう思う」 2「ややそう思う」 単位は% ※ 丸で囲まれた番号は今年度の重点項目

※ 「評価」は、1と2の合計値について、90%以上を◎、80%以上90%未満を○、80%未満を▲とした。

分類	NO	AB票関連	評価の観点	H29職員		H28職員		H29生徒		H28生徒		H29保護者		H28保護者	
				評価	%	評価	%	評価	%	評価	%	評価	%	評価	%
学校運営	1	1	目標の学校像(楽しい学校、活力ある学校、美しい学校)並びに生徒像(自ら学ぶ、素直な心を持つ、健康な体をつくる)が常に意識されている。	◎	100	◎	96	◎	92	◎	90	◎	94	◎	96
		2		○	81	○	81	○	80	▲	79				
	②		担当分掌の業務内容の見直しや資料整理に努めた。	◎	100										
	③		業務内容の効率化を図るために、積極的にICTを活用した。	○	88										
	4		個人情報保護の観点から自己管理を徹底した。	◎	93	○	92								
	5		グループセッションを定期的(週2回以上)に見ている。	○	89										
	6		様々な場面で、小中連携を意識していた。	▲	50										
	7		職員間において、協働体制が機能している。	◎	97	◎	92								
	⑧		会議の精選や効率化に向けての努力が見られる。	○	85										
	9	3	生徒や保護者への連絡は、迅速かつ確に行われている。	◎	92			◎	99	◎	92	○	88	◎	96
	10	4	施設・設備について定期的に点検し、処理や管理が適切に行われている。	◎	96	◎	92	◎	91	◎	86	○	87	○	88
11		学級及び学年、学校通信は、保護者への情報発信等の目的を充分果たしている。	◎	96											
教科指導	⑫	8	基礎的・基本的な学力の定着を図る工夫を行った。	◎	100	◎	100	◎	95	◎	90	○	84	▲	71
	13		授業では「見通し」「振り返り」をはじめとする「甲府スタイル」を積極的に取り入れた。	◎	91										
	⑭		自分の考えを伝え合う場面を取り入れ、言語能力の育成を目指した。	◎	91	○	88								
	⑮	6	学習意欲を高める工夫を行った。	◎	100	◎	100	○	83	○	83	▲	74	▲	75
		○						88	◎	87	▲	79	▲	71	
⑯	7	授業と家庭学習を有機的につなげる工夫を行った。	○	87	◎	92	▲	60	▲	54	▲	55	▲	58	
生指	⑰	12	共感的理解を基礎とし、指導と支援の両面から生徒に接している。	◎	100	◎	100	◎	91	◎	88	○	85	▲	75
		○						83	○	81	○	81	▲	75	
	18	家庭との連携がとれている。	◎	92	◎	100									
	⑱	職員間の連携がとれていて、問題行動の早期発見、早期解決につながっている。	◎	93											
	⑳	いじめ・不登校に対して、組織的、計画的な対応ができています。	◎	97											
㉑	13	「心の居場所」となるような集団づくりがなされている。	◎	96	○	88	◎	90	◎	86	○	86	◎	92	
道徳・特活	22	19	道徳の授業では、豊かな心の育成を目指した工夫がなされている。	▲	74	▲	62	○	83	○	83	◎	90	▲	67
	23		校友会活動(学級、学年、学校)では、「自主活動」が意識されている。	◎	92										
	24	16	学校・学年行事を通して、生徒の変容が見られる。	◎	96	◎	100	◎	97	◎	92	◎	98	◎	100
	25	17	委員会活動は充実している。	◎	93	◎	92	◎	93	○	85	◎	92	◎	92
	26	11	生徒は「あいさつ」がよくできている。	▲	51	▲	46	○	87	○	79	○	86	◎	96
	27	18	生徒は清掃活動に対して、常に真剣に取り組んでいる。	▲	67			◎	94			◎	93		
	28		生徒は、時間を意識して行動ができています。	○	81										
	29		生徒は、自主管理を意識し、自らルールを守っている。	▲	63										
読書	⑳	20	読書活動の定着を図る工夫がなされている。	▲	63	▲	75	▲	63	▲	34	▲	42	▲	29

考 察

1. 今年度の重点目標に関わって 【学力向上】

■基礎学力の定着と自主学習につながる授業の工夫

- (1) 基礎的・基本的な学力（知識・技能）の確実な定着を図る。
- (2) 自主的な学習姿勢や習慣を育成する。
- (3) 言語能力の育成を学習の基本におき、語彙力の向上並びに伝え合う力の育成に努める。
- (4) 学校図書館の積極的な活用を図り、読書活動を奨励し、読書力を高める。

- ・ (1) に関連する項目⑩についての集計結果は、概ね良好であり、昨年度の評価と比較しても、生徒、保護者共、プラス評価となっている。このことは、昨年度、今年度と甲府市の研究指定を受け、「甲府スタイル」を活用した授業づくりに取り組んだ成果の一つともいえるだろう。特に授業において「見通し」を持たせ、毎時間学んだ内容の「振り返り」を重視するとともに、「自分の考えを伝え合う場面」の設定を心がけることで言語能力の向上を目指した。このことは、項目⑬⑭における集計結果にも表れている。
- ・ (2) に関わっては、各学年を中心として、学年生徒の実態に応じた取り組みを展開してきた。具体的には、「小学校で活用してきた『自主学習ノート』を各教科で継続して活用」「自身の学習の歩みを記録し、振り返ることのできる『学習ステップアップシート』の活用」「学年共通参考書を活用した自主学習ノートの活用」「毎日の帰りの会の中で、『今日の家庭学習』について確認する場面の設定」などである。
さらに、授業においても、各教科担当が、本時の内容を家庭学習へとつなげていく工夫を心がけてきたが、定着までには至っていない。
- ・ (4) に関わる取り組みとしては、図書委員会が中心となり「学級文庫」「読書パズル」「文庫X」「ビブリオバトル参加」など、読書への興味関心を高める工夫を実践した。関連項目の評価は、昨年度に比べ、生徒、保護者共、プラス傾向にあるものの、依然として職員、生徒、保護者共に、評価としての数値は低めである。ただし、昨年度に比べ生徒の一人当たりの貸し出し数は伸びている。

学校関係者評価より

- ・ 読書時間の伸び悩みは、スマホの普及の影響を受けていることだろう。まだ、自律心が発達途上である生徒達にとって、もしも、帰宅し自分専用のスマホが自由に使えるとするならば、何よりも真っ先にスマホを手にとってしまうことだろう。各家庭における、子どもの自律心を育成するためのスマホ利用ルール作りの大切さを伝えるとともに、スマホから離れることのできる学校においては、読書の意義や大切さ、さらには楽しさを体験させる取り組みを今後も展開してほしい。

【心の教育】

■自己肯定感の育成と問題の早期発見・解決

- (1) 共感的理解を基盤に、指導と支援の両側面から生徒に接する。
- (2) 問題行動を生まない、「攻めの生徒指導」を心がけ、的確な記録を指導簿に記す。
- (3) いじめの発見と対応並びに不登校の改善に向けて積極的に情報交換を図る。
- (4) こころの居場所づくりに努める。

- ・ 生徒指導に関わる項目に関しての評価は、職員、生徒、保護者共、概ね良好であると思われる。各学年共、朝の登校時は教室で生徒を迎え、休み時間等も各学年のフロアにできるだけ職員が常駐し、できる限り生徒とともに活動することを心がけ、生徒理解はもちろんのこと、問題行動の早期発見、早期解決に努めている。今後も、職員間の連携に加え、各家庭や必要に応じて関係機関との連携も密にしながら、一人ひとりに応じた対応を心がけていきたい。
- ・ 道徳教育については、生徒、保護者の評価は概ね良好であるが、職員の評価はやや低めである。各学年の実態に応じた外部講師を招いての体験的活動を取り入れながら、教育活動全体で行う道徳教育を意識してはいるものの、平成31年度から「特別な教科」となる道徳についての準備としては、まだまだ不十分であることを認識しているものと考えられる。

学校関係者評価より

- ・ 生徒達の育った環境をより深く理解し、それぞれに応じた対応をこれからも継続してほしい。
- ・ 学校だけに任せるのではなく、地域としても「地域で子どもを育てる」という気持ち忘れず、登下校の見守り活動を継続していきたい。また、地区の育成活動による、地域の子供達とのふれあいを通して、子供達に気軽に声をかけられる環境作りを目指していることをご理解願いたい。

■多忙化解消に向けた取り組み

- ・ ICT を活用することで、業務の効率化を目指した。特にグループセッション掲示板を活用することで、打合せ時間の削減を目指した。また、印刷時間の短縮のため、パソコンを使ったペーパーレス会議も実践した。

2. 学校運営に関わって(1で取り上げた内容は除く)

- ・ 職員間の「報連相」は、常に意識しているものの、職員アンケートにおいては不十分な場面も多々あったとの反省が出ている。特に、企画、生徒指導部会をはじめとする職員内の代表者会で確認された内容を各学年職員へ確実に伝えていくことが必要である。
- ・ 生徒や保護者への連絡については、生徒、保護者とも好評価を得ている。特に緊急時

におけるマメルメールの活用は有効である。ただ、加入率は100%ではない。今後は加入率100%を目指す働きかけをするとともに、より有効な活用方法を模索していきたい。

- ・ 施設・設備については、全職員による日常的な点検を重視するとともに、早めの対応を心がけてきた。今後も継続していきたい。

学校関係者評価より

- ・ 日常的な施設・設備の点検を重視するとともに、北中での熱中症事案をはじめ、他校における事例を職員間で引き継ぎながら、生徒達がより安全で安心な学校生活を送ることができるよう努めてほしい。
- ・ 災害時に緊急避難する際、使用できる教室等を明示しておいていただけるとありがたい。

3. 特別活動に関わって

- ・ あいさつ・清掃・自己管理

職員評価において、日常的な活動に関する項目で、最も評価の低い項目が「あいさつ」であり、次に「自主管理」、「清掃活動」と続く。一方、「あいさつ」「清掃活動」についての生徒の自己評価は高い。意識のギャップを埋めるための指導や取り組みの工夫が、今後の課題であると考えられる。また、「自主管理」については、様々な活動において、学友会歴代のキャッチフレーズであることを再確認させる必要があるだろう。来年度の生徒アンケート調査項目の中には、この項目に関する項目も盛り込みたい。

学校関係者評価より

- ・ 核家族化、少子化、地域とのつながりの希薄化は、生徒達の心の教育に大きな影響を与えているものと考えられる。かつて、「あいさつ」「礼儀」「思いやる心」「他者との協力性」などは、地域との交流の中で、自然に身につけてきた力であった。もちろん、今でも各地区の育成会を中心として、「地域で子どもを育てる」ための活動は継続されているものの、参加者の減少は各地区の共通課題である。そのためには、まず、地域の活動の意義について、保護者に理解してもらう必要がある。学校としても、可能な範囲で協力してほしい。また、このような地域の現状を考えると、学校における特別活動を中心とした様々な人との交流は、生徒達の心の成長にとって不可欠なものと考えられる。これからも生徒達の生活環境を理解した上で、地域の特性や人材を生かしながら、「心の教育」を推進して欲しい。

4. その他(項目31に関わって)

昨年度まで、保護者アンケートはPTA役員のみの実施であったが、今年度は全保護者を対象として実施した。回収率も高く、保護者の皆様から、様々な「励まし」「苦言」「ヒント」等をいただいた。それらを真摯に受け止め、来年度の北中教育への参考とさせていただきます。

来年度に向けての改善点

今年度の学校評価をもとに、次の項目を来年度の改善点としたい。

1. 学力向上

- 授業づくり
 - ・ 「基礎的・基本的な学力の定着を図る工夫」に関する評価については、前述した通り、職員、生徒、保護者共、概ね良好であった。ただ、学習意欲を高めるための工夫に関する項目については、生徒評価並びに保護者評価と職員評価の数値に、やや隔たりがあった。昨年度から2年間、研究指定校として取り組んだ成果を生かし、引き続き生徒の学習意欲を高めるための授業づくりに取り組む。
- 家庭学習
 - ・ 職員、生徒、保護者共、低い評価ではあるが、わずかながら手ごたえを感じる部分もある。今後も学年の実態を考慮しながら教科、学級、学年の連携はもとより、小中連携した活動も取り入れながら、様々な側面からのアプローチを継続していく。

2. 心の教育

- 道徳教育
 - ・ 時間確保はもとより、教育活動全体で行うことを常に意識する。
 - ・ 平成 31 年度「特別な教科」として導入される「道徳」授業に向けての研修や準備に取り組む。
- 「あいさつ」「清掃」
 - ・ 生徒と職員の意識の差が最も大きい項目であった。指導や支援を工夫し、「礼儀正しさ」「節度」「清潔感ある環境」を大切にできる生徒の育成を目指す。

3. その他(1. 2に共通して)

- 読書
 - ・ 図書委員会を中心とした取り組みにより、わずかではあるが、一人当たりの本の貸し出し数は伸びている。朝の自主活動における「読書タイム」をはじめとして、学級や教科における図書館利用を推進する。